

VIII 受験上の注意事項

数理科学専攻	24
物理学専攻	25
化学専攻	26
生命科学専攻	27,28

数理科学専攻の志願者への注意

数理科学専攻

1. 数学 I

微分積分、線形代数（行列、線形写像、ベクトル空間）からそれぞれ2題ずつ、計4題が出題されるので、4題とも解答すること。

2. 数学 II （夏季入試のみ実施）

以下の範囲から、基礎的な問題が9題出題される。その中から2題を選択して解答すること。

出題範囲：

代数分野（線形変換の標準形、計量ベクトル空間、群論・環論の初歩）

幾何分野（位相空間論、曲面・曲線の微分幾何）

解析分野（ベクトル解析、微分方程式論、複素関数論）

応用数理分野（離散数学、アルゴリズム）

3. 英語

数学に関する文章の英文和訳、英作文（和文英訳を含む）の2題が出題されるので、2題とも解答すること。

4. 過去に出題された試験問題（数学 I、数学 II）は専攻のホームページ（URL: <https://www.se.tmu.ac.jp/mis/>）から入手できる。

5. 第2次試験（口述）の参考資料として、アンケート調査を実施しています。受験票送付のときにアンケート調査表を同封しますので、記入の上、試験当日、持参してください。試験会場にて回収します。

6. 入学願書の志望分野番号欄に志望分野番号とその教員名も記入して下さい。

(記入例)	※ 志 望 分 野 番 号	
	第一志望 ① 広尾	第二志望 ② 代々木

なお、各研究室には受け入れ可能な人数に上限があるため、志願者の成績が合格基準に達していても志望する研究室に入れない場合があります。受け入れの可否については、当該研究室の教員に事前にメール等で問い合わせてください。

物理学専攻の志願者への注意

物理学専攻

1. 物理学の出題範囲

物理学Ⅰ：力学、電磁気学

物理学Ⅱ：量子力学、熱・統計力学

※物理数学も出題範囲に含まれます。

2. 合格判定の手順

・ 1 次選抜

A-D のグループごとに、筆記試験の成績上位者を選抜します。

・ 2 次選抜

A-D のグループごとに、口述試験を行い 1 次試験の結果と合わせて総合的に評価をし、その評点が基準点を超えた者を合格とします。

入学願書の志望分野番号欄には、分野番号およびグループ記号を、次のように記入して下さい。

・ 第 1 志望欄：分野番号 ①－⑮から、1 つを選んで記入して下さい。

・ 第 2 志望欄：グループ記号 A-D から、最大 2 つを志望順に左から記入して下さい。

(注意)

第 2 志望分野 (研究室) が、第 1 志望分野と同じグループに属する場合にも、該当するグループ記号 A-D を第 2 志望欄に必ず記入して下さい。

3. 博士前期課程の入学後 5 年未満で指導教員が退職する予定の場合、その教員を指導教員として博士後期課程への進学はできません。博士後期課程への進学を考えている場合は、志願前に当該研究室の教員にその旨を伝え、よく相談して下さい。

4. 博士前期課程の入学後 2 年以内に指導教員が退職予定の場合は、長期履修制度は利用できません。

5. 物理学専攻の大学院入試に関する重要な情報を以下の web サイトに掲載しています。必ず最新の情報をチェックするようにして下さい。

・ 入試全般

<https://www.phys.se.tmu.ac.jp/outside/daigakuin/>

・ 過去に出題された試験問題

<https://www.phys.se.tmu.ac.jp/outside/daigakuin/kakomon/>

化学専攻の志願者への注意

化学専攻

1. 各研究室には定員があります。そのため、志願者の成績が合格水準に達していても、志望する研究室に入れないことがあります。志望する研究室の定員や出願状況については当該研究室の指導教員に問い合わせてください。
2. 入学願書の志望分野番号欄には、下記の記入例のように、第一志望欄には第一志望の分野番号を記入し、第二志望欄には第二志望から第五志望までの分野番号を志望する順に記入してください。記入がない場合には、第二志望以下の研究室に配属されず不合格となる場合があります。

(記入例)

※ 志 望 分 野 番 号	
第一志望 9	第二志望 5、12、6、4

3. 試験問題のうち「化学」は、有機化学、無機・分析化学、物理化学の3分野から出題されます。問題の選択方法については試験当日に配布される問題冊子の表紙に記載されます。過去の「化学」の問題は、専攻のホームページから入手することができます。

生命科学専攻の志願者への注意

生命科学専攻

1. 入学願書の志望分野番号欄には、下記の記入例 1 のように、第一志望欄には第一志望の分野番号を記入し、第二志望欄には、第二志望と第三志望の分野番号を志望する順に記入してください。

※ 志 望 分 野 番 号	
(記入例 1)	
第一志望 1	第二志望 1 5、2

2. 各分野には受入可能人数の上限がありますので、合格しても志望分野に入ることができない場合があります。志願者の成績が合格基準に達していても、既に志望する分野の受け入れ可能人数が、成績上位者によって上限に達していた場合は、「所属分野未定」としての合格となります。
3. 「所属分野未定合格者」は、入学手続後に相談のうえ所属分野を決定します。入学辞退者があった場合は、「所属分野未定合格者」が当初希望の分野に所属できる可能性もあります。
4. 第二または第三志望分野で合格した場合でも、入学手続後にその志望分野への所属の放棄を申し出ることによって、「所属分野未定合格者」になることができます。
5. 所属可能な分野の情報、志望分野への所属の放棄申請手続、および「所属分野未定合格者」の所属分野決定の詳細等については入学手続終了後にお知らせします。
6. 連携客員教員の研究分野を志望する場合は、入学願書の志望分野番号欄に志望分野番号に加え、教員名も記入して下さい。

※ 志 望 分 野 番 号	
(記入例 2)	
第一志望 1 野中	第二志望 1 5、1

7. 長期履修制度の利用を希望する場合は、必ず出願前に志望分野の教員に連絡を取り、相談してください。
8. 生物学筆記試験の過去問は、以下の生命科学専攻ホームページ「大学院入試問題（過去出題分）」をご覧ください。

<https://biol.fpark.tmu.ac.jp>

9. 外国語の評価について

- ・ TOEFL-iBT、 TOEIC Listening & Reading Test または IELTS Academic Module 公開テストのスコアに基づいて「外国語」を評価します。下の換算表に従って、点数を評価します。

- ・各スコアは、下記のとおり、200 点満点に換算し評点とします。

1) IELTS-Academic module 次の表に従って、換算する。但し、7.5 点以上は 200 点とする。

IELTS	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	6.5	7.0	7.5-
評点	50	55	57	60	80	95	105	115	135	160	170	180	200

2) TOEFL-iBT 次の表に従って、換算する。但し、91 点以上は 200 点とする。

TOEFL	<19	20 - 28	29 - 32	33-44	45-51	52-60	61-68	69-75	76-82	83-90	91-
評点	57	60	80	95	105	115	135	160	170	180	200

3) TOEIC Listening & Reading Test

次の換算式に従って、換算する。

$$[\text{TOEIC のスコア}] / 990 \times 200$$